

TOPICS

光輝性の色漆で新製品開発を支援

—黄金に輝く輪島塗の酒器—

繊維生活部 梶井紀孝(かじい のりたか)

kajii@iriii.jp

専門：漆製造、工業意匠

一言：新しい技術、製品の開発を目指します。



漆器は、黒色を基調とした製品が主流ですが、近年は特に目を惹く色合いが求められています。

工業試験場では平成22～23年度に、従来漆器の着色に使用されていなかった光輝性のある色材(顔料)を漆と調合して、パール調の色鮮やかな漆を開発しました。さらに、平成29年度には、光を金色に反射する雲母材と、金や銀色に反射するガラスフレーク材を塗膜に均一分散させることにより、蒔絵のように豪華な金色を表現する漆を開発(図1)し、県内産地企業への技術移転を図っています。

この金色漆を用いて、輪島塗を製造する千舟堂(株)岡垣漆器店(輪島市)では、これまでの部分的な金装飾ではなく、黄金色を基調とした酒器(図2)を製品化しました。

製品は、平成30年6月に東京都内の酒店で展示発表され、器全体が黄金に輝くことで、来店者から注目を集めました。今後も新しい漆および漆器の新製品開発を支援していきますので、お気軽にご相談ください。

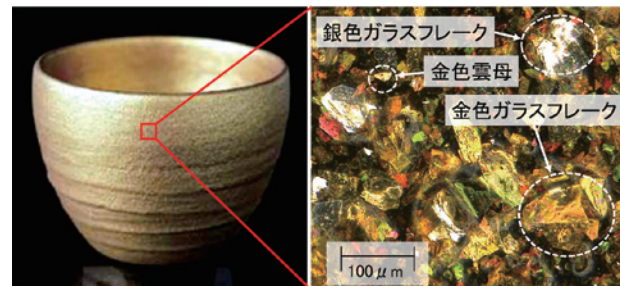


図1 漆塗膜の拡大写真



図2 黄金色の輪島塗酒器